



第3回 深宇宙探査学シンポジウム 太陽系探査の明日

～ 小惑星・小天体の世界への招待状 ～

International symposium "Space explorations: small bodies in the solar system"

主催 ▶ 東京大学大学院新領域創成科学研究科

共催 ▶ 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)



日時 ▶ 2012年5月14日(月)
午前10時30分～

会場 ▶ 東京大学柏キャンパス
柏図書館メディアホール
<http://www.k.u-tokyo.ac.jp/>

今回は、海外からの講師をお迎えして、講演は全て英語で行われます。同時通訳サービスを提供致しますので、これまで通り、一般の方や深宇宙探査が専門でない学生、研究者もご参加できます。ただし、機器の数に限りがありますので(70台)、ご希望が多い場合にはサービスを提供できない場合もございます。

プログラム

10:30～10:40

開会のあいさつ

武田展雄氏(東京大学大学院新領域創成科学研究科副研究科長)

10:40～11:15

原始太陽系円盤における彗星の形成: 重水素の観測による制約

Dr. Olivier Mousis (Universite' de Franche-Comte' & OSU THETA de Franche-Comte', フランス)

11:15～11:50

始原天体と外側太陽系の探査: 彗星、氷衛星、そしてアストロバイオロジー

Dr. J. Hunter Waite (Southwest Research Institute, アメリカ)

11:50～12:25

深宇宙探査における電気推進の適用と今後の展望

小泉宏之氏(東京大学工学系研究科)

12:25～13:30

昼食

13:30～14:05

トロヤ群小惑星: オディセイ探査計画

Dr. Philippe Lamy (Laboratoire d'Astrophysique de Marseille, フランス)

14:05～14:45

ソーラーセイル宇宙機開発の現状と将来

その1 IKAROS による世界初のソーラー電力セイルの実証

森治氏(JAXA)

その2 ソーラー電力セイルを用いた木星・トロヤ群小惑星探査計画

船瀬龍氏(JAXA)

14:45～15:20

小惑星サンプルリターンミッション「はやぶさ2」の現状について

吉川真氏(JAXA)

15:20～15:40

休憩

15:40～16:15

最近のサンプルリターンミッションで明らかになった新しい初期太陽系進化プロセス

中村智樹氏(東北大学理学研究科)

16:15～16:50

MarcoPolo-R: ESAによる連星型小惑星からのサンプルリターン計画

Dr. Patrick Michel (Directeur de Recherches au CNRS, Observatoire de la Cote d'Azur, フランス)

16:50～17:25

小天体表面探査ロボット: MINERVAの経験とその後

吉光徹雄氏(JAXA)

17:25～18:00

衝撃工学からみた「地」震動

上西幸司氏(東京大学工学系研究科)

18:00～18:10

閉会のあいさつ

上田卓也氏(東京大学大学院新領域創成科学研究科研究科長)

18:30～

懇談会

お問合せ

深宇宙探査理工連携ネットワーク

E-mail: dsnet@daedalus.k.u-tokyo.ac.jp

本シンポジウムは、東京大学大学院新領域創成科学研究科
学融合研究推進調査費の支援を受けて開催されます。

Supported by:

東京大学大学院新領域創成科学研究科基盤科学研究系
基盤科学領域創成研究教育プログラム
(CRETS)

